

## 行政評価結果表

整理番号	グループ名	事務事業名	H25評価点数表						項目別 点数 評価	担当課 評価	2次 評価	3次 評価
			必要性	有効性	点数	達成度	効率性	点数				
1	議会グループ	会議録調整費	2	3	5	1	0	1	B	A	A	A
2	議会グループ	情報公開費	3	2	5	1	0	1	B	B	A	A
3	総務グループ	職員研修費	2	2	4	1	2	3	A	A	A	A
4	総務グループ	車両管理費	2	2	4	1	1	2	B	A	A	A
5	総務グループ	交通安全対策費	2	2	4	1	0	1	B	A	A	A
6	企画グループ	産業活性化サポート事業費	3	2	5	2	1	3	A	A	A	A
7	企画グループ	バス待合所管理費	3	1	4	1	1	2	B	A	A	A
8	企画グループ	インターネット事業費	3	1	4	2	1	3	A	A	A	A
9	企画グループ	産学官連携産業活性化事業	2	2	4	2	1	3	A	A	A	A
10	税務グループ	確定申告電算化事業費	4	2	6	2	1	3	A	A	A	A
11	住民グループ	保育所費	4	2	6	2	1	3	A	A	A	A
12	住民グループ	学童保育費	3	2	5	2	1	3	A	A	A	A
13	保健福祉グループ	健康づくり推進費	4	3	7	1	2	3	A	A	A	A
14	保健福祉グループ	ガン検診推進事業費	4	3	7	2	1	3	A	A	A	A
15	保健福祉グループ	温泉健康保養センター管理運営費	5	3	8	2	1	3	A	A	A	A
16	農林グループ	活性化センター管理運営費	3	2	5	2	1	3	A	A	A	A
17	農林グループ	熊等による被害対策費	4	2	6	1	2	3	A	A	A	A
18	水産グループ	水産加工協議会補助費	2	2	4	1	1	2	B	A	A	A
19	水産グループ	漁村環境改善総合センター運営費	3	1	4	1	2	3	A	A	A	A
20	商工グループ	観光振興費	5	1	6	1	0	1	B	A	A	A
21	商工グループ	横網記念館管理運営費	4	1	5	1	1	2	B	A	A	A
22	建設水道グループ	街路灯設置及び助成事業費	5	2	7	2	2	4	A	A	A	A
23	建設水道グループ	道路維持補修事業費	3	2	5	1	2	3	A	A	A	A
24	建設水道グループ	住宅管理費	3	1	4	1	2	3	A	A	A	A
25	学校教育グループ	福島商業高等学校存続対策費	5	3	8	2	0	2	B	A		
26	学校教育グループ	友好町村交流事業費	4	3	7	2	1	3	A	B		
27	学校教育グループ	AET招致費	4	3	7	1	2	3	A	A		
28	学校教育グループ	学校給食センター費	5	3	8	1	2	3	A	A		
29	生涯学習グループ	読書活動費	7	2	9	2	3	5	A	A		
30	生涯学習グループ	ファミリースポーツ公園管理費	3	2	5	2	2	4	A	A		

※整理番号26～31については、「福島町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検及び評価に関する報告」によるので省略している。

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月30日 作成

		担当課	議会グループ					
事務事業名	会議録調整費		施策コード	5515112				
施策の体系	大項目	構想推進のために	法的	法令	条例	その他		
	中項目	行財政の運営	根拠等	地方自治法第123条				
	小項目	行政運営の改革	実施	直営	委託	その他		
	財務名称	会議録調整費	方法					
事業概要	臨時職員1名を雇用し本会議や常任委員会等の会議録を作成。（平成15年度より反訳委託を廃止）							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）		(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例に再開する本会議会議録</li> <li>・ 定例以外に再開する本会議会議録</li> <li>・ 常任委員会会議録</li> <li>・ 特別委員会会議録</li> <li>・ 全員協議会会議録</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例に再開する本会議会議録（50日以内）</li> <li>・ 定例以外に再開する本会議会議録（25日以内）</li> <li>・ 常任委員会会議録（80日以内）</li> <li>・ 特別委員会会議録（80日以内）</li> <li>・ 全員協議会会議録（80日以内）</li> </ul>					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
		迅速に会議録を作成し、会議内容を公表する。						
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	1	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		会議録の作成は必要不可欠なものであり、地域雇用の推進の面からも継続すべきものである。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等		計	1	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		法令等の義務である。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加会議結果として整理し残すべきものである。	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	3	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		会議録に残すことで説明及び議論等が正確かつ明確にできる。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定		計	1	点			
	区分	指標（算式）	単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	作成日数（定例に再開50日以内）	日	50	50	50	50
		（算式）						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	作成日数（常任委員会等80日以内）	日	80	80	80	80
		（算式）						
		指標	定例に再開する本会議（作成平均日数）	日	33	36	43	50
		（算式）						
		指標	常任委員会（作成平均日数）	日	33	58	64	80
		（算式）						
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		平成24年度は定例に再開する本会議が9日、常任委員会が19日開催されました。どちらも目標作成日数以内には作成完了しており、今後とも、迅速な会議録作成に努めたい。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																												
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																										
	事業費	千円	2,172	2,193	2,356		低下している	1点																																																																																																																										
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																										
	地方債	千円				賃金	1,864	上昇している																																																																																																																										
	その他	千円				共消費	492	説明 臨時職員の賃金が月額となったため、経費は増加した。																																																																																																																										
一般財源	千円	2,172	2,193	2,356																																																																																																																														
(2)手法の効率化				計	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																												
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点	臨時職員が、録音した音源を聞きながら会議録作成を行っている。臨時職員の入力速度のレベルも高い状況にあり、迅速な会議録作成となっている。																																																																																																																												
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点																																																																																																																													
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																													
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																													
	B		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>2</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>3</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>1</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>1</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	2	2 有効性	3	3 達成度	1	4 効果性	1	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>							0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1							B			0										-1										-2									
項目	点数																																																																																																																																	
1 必要性	2																																																																																																																																	
2 有効性	3																																																																																																																																	
3 達成度	1																																																																																																																																	
4 効果性	1																																																																																																																																	
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																									
						A			6																																																																																																																									
									5																																																																																																																									
									4																																																																																																																									
									3																																																																																																																									
									2																																																																																																																									
									1																																																																																																																									
						B			0																																																																																																																									
									-1																																																																																																																									
									-2																																																																																																																									
									低																																																																																																																									
担当課評価	A																																																																																																																																	
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																		
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																	
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																												
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																	
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																												
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																												
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																												
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																	
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																												
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																												
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																												
説明	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																	
	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																									
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																							
一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																													
臨時職員を雇用し会議録を調製することは、議会事務局体制の充実と雇用確保としても寄与している。平均作成日数が目標作成日数以内となっていることから、現在の方法が最善と考えている。					ほとんどの会議録を調製しているが、議会運営委員会会議録の調製が課題となっている。しかし、議会運営委員会の開催日数が多いことから、会議録作成を行うと大きな負担となる状況にある。平成27年度には事務局体制を1名減する予定となっており、今後、現在の会議録作成範囲の見直しも必要と考える。また、現在、モニターとして取り組んでいる会議録作成支援システム(自動変換システム:ボイスエアー)の認識率の推移により、今後の会議録作成手法についても検討していきたい																																																																																																																													
二次評価	庁内委員会評価																																																																																																																																	
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
三次評価	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																							
	説明 臨時職員による対応が外部委託に比較して、効率的・コスト的にも優れており、また、目標とする日数よりも短期に作成されている。																																																																																																																																	
A 現状にて事業を継続または拡充																																																																																																																																		
B 事業の進め方の改善・検討が必要																																																																																																																																		
C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																		
D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨																																																																																																																																		
説明																																																																																																																																		

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月30日 作成

		担当課	議会グループ					
事務事業名		情報公開費		施策コード	5515111			
施策の体系	大項目	構想推進のために		法的	法令	条例	その他	
	中項目	行財政の運営		根拠等	議会基本条例第7条			
	小項目	行政運営の改革		実施	直営	委託	その他	
	財務名称	情報公開費		方法				
事業概要	平成元年より議会だよりを発行。平成13年度より福島町ホームページに議会コーナーを創設した。議会の更新頻度やデータ容量の増加により、町担当者への負担が大きくなったために平成20年度より議会独自のホームページを開設。平成21年度からは議会インターネット中継とオンデマンドを開始。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	全町民及び町外			<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会だより年4回発行（ホームページにも掲載）</li> <li>・議会ホームページに会議開催予定や資料を掲載</li> <li>・本会議や常任委員会の会議録を掲載</li> <li>・本会議や全員協議会などインターネット中継（ライブ・オンデマンド）</li> </ul>				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			町民に議会活動をより理解してもらい、両基本条例による住民・行政・議会の「協働」による真の地方自治の実現を目指す。				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	1	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		議会基本条例第5条・第7条・第19条及び第24条による情報提供・情報共有である。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		現在の社会情勢を考えた場合、インターネットを通じた情報発信が必要不可欠である。日中、議会へ来れない方もいるため、議会だよりや映像配信は大きな役割を持つ。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加いつでもどこでも議会の状況を知ることが出来、インターネット事由による情報発信は今後不可欠である。	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		紙面による情報提供は全ての町民に対して有効であり、映像配信はライブ中継とオンデマンドにより自分の都合に合わせて見ることができる。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
		区分	指標（算式）	単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	議会だよりの発行（年4回発行）	ページ	4	4	4	4
		（算式）						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	ホームページによる資料等の提供	回	27	36	34	36
		（算式）						
	指標	指標	議会だより 発行ページ数（実績）	ページ	64	78	84	84
		（算式）						
	指標	指標	資料等を掲載した本会議・常任委員会等	回	27	36	34	36
		（算式）						
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		町民に議会・議員の活動を見てもらう一番の手法としては、議会だよりだと考えている。年々、ページ数が増加しているが、内容も充実してきていると思う。編集方針としては、議会基本条例の3つの柱を基本に作成している。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点			
	区 分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額	
	事業費	千円	659	669	694		低下している	1点	
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	
	地方債	千円				議会だより印刷	453	上昇している	
	その他	千円				手数料及び使用	230	議会だよりの内容の充実に伴いページ数が増えている状況にある。	
(財源内訳)	一般財源	千円	659	669	694	手数料及び使用	説明		
(2)手法の効率化				計	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。			
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点	経費は議会だよりの印刷製本費が大半を占めている。作成単価も最低レベルにあると考えており、大幅な削減は難しいと考える。			
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点				
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点				

項目別点数による評価	項目別点数による評価結果	項目別点数表	低	必要性+有効性								高									
	B	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>3</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>1</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>1</td></tr> </table>	項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	2	3 達成度	1	4 効果性	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8~
項目	点数																				
1 必要性	3																				
2 有効性	2																				
3 達成度	1																				
4 効果性	1																				
							A			5											
										4											
										3											
										2											
										1											
							B			0											
										-1											
										-2											
										低											

担当課評価	B	上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。
-------	---	--

A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)	現状のまま事業を継続	事業を拡充して継続
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)	事業の簡素化、効率化による改善	執行体制の見直し(外部委託等)による改善
	事業手法の見直しによる改善	住民参加等の推進による改善
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善	その他効果的・効率的手法の検討による改善
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)	制度・事業内容の全面的な見直しを検討	対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討	他の事業、類似事業への統合・転換を検討
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討	その他
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)	廃止	統合
	縮小	凍結
	新たな事業への転換	
事業廃止の可能性や廃止することによる影響	廃止可能	条件が整えば廃止検討可能
	廃止は困難	その他

説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 議会だよりの新コーナーの掲載や、議会ホームページの状況は近隣町の状況から見れば充実していると思うが、現状に満足することなく今まで以上にわかりやすい情報発信を検討していきたい。 また、見やすいトップページについても、行政側の担当者(町ホームページ)と協議のうえ、検討していきたい。	今後の改善策等を具体的に記入します。 ・議会だよりの内容充実(興味を持ってもらえる紙面の工夫・4回フルカラー) ・議会ホームページのリニューアルの検討(CMS) ・光ファイバー開設による議会中継の改善(画質の向上、アクセス制限がなくなる)
----	---	--

二次評価	庁内委員会評価	A	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要
	説明	議会ホームページや本会議の映像配信などの取り組みは、先駆的であるとともに内容も充実している。	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合
			縮小	凍結	新たな事業への転換

三次評価	三次評価	A	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要
	説明	現状においても充実していると思うが、これまで以上にわかりやすい情報発信について検討を進められたい。	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合
			縮小	凍結	新たな事業への転換

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月30日 作成

		担当課	総務グループ					
事務事業名		職員研修費			施策コード	55151110		
施策の体系	大項目	構想推進のために			法的	法令	条例	その他
	中項目	行財政の運営			根拠等	福島町職員研修計画		
	小項目	行政運営の改革			実施	直営	委託	その他
	財務名称	職員研修費			方法			
事業概要	職員研修に係る研修旅費経費 (1) 町村会研修 (2) 職員研修センター研修 (3) 市町村アカデミー研修 (4) その他研修							
事業の目的	(1) 対象（誰を、何を対象としているのか）			(3) 手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	職員を対象に研修計画に基づき、資質の向上に向けた研修を行っている。			研修計画に基づき、新採用時、採用2年目、係長・主査昇格時、管理職昇格時に職階に応じた研修を割り当てる。 また、職種に応じた研修や自己申告による自主研修を取り入れる。				
	(2) 意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
職員の資質向上及び意識改革によるレベルアップを図る。								
1 必要性	(1) 町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		町の人事管理に係る事業である。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		権限委譲による事業量増加や職員数減少による少数での町政運営には職員一人一人の資質向上は不可欠である。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		少数の職員での運営により、人件費が削減され、健全財政が図られる。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1) 達成度の測定			計	1	点		
		区分	指標（算式）	単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	指名研修対象者	人	12	22	17	17
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	指名研修修了者	人	12	24	17	17
		(算式)						
		指標	希望研修修了者	人	14	7	6	
	(算式)							
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		指名研修は、計画どおり修了しているが、希望研修者が減少している			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																																															
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																																													
	事業費	千円	794	815	605		低下している	1点																																																																																																																																													
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																																													
	地方債	千円				旅費	605	上昇している																																																																																																																																													
	その他	千円						説明																																																																																																																																													
	一般財源	千円	794	815	605																																																																																																																																																
	(2)手法の効率化				計	2	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																													
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1	点	受講料が発生しない公的機関での研修を受講することにより旅費のみの支出に抑えている。また、一部研修については、市町村振興協会等からの助成対象となっている。																																																																																																																																													
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1	点																																																																																																																																														
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1	点																																																																																																																																														
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																																
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th colspan="2">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>2</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	2	4	2	有効性	2	3	達成度	1	3	4	効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>							低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高											6								A			5											4											3											2											1								B			0											-1											-2										
	項目	点数																																																																																																																																																			
1	必要性	2	4																																																																																																																																																		
2	有効性	2																																																																																																																																																			
3	達成度	1	3																																																																																																																																																		
4	効果性	2																																																																																																																																																			
低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																											
										6																																																																																																																																											
							A			5																																																																																																																																											
										4																																																																																																																																											
										3																																																																																																																																											
										2																																																																																																																																											
										1																																																																																																																																											
							B			0																																																																																																																																											
										-1																																																																																																																																											
										-2																																																																																																																																											
										低																																																																																																																																											
担当課評価	A																																																																																																																																																				
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																																					
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																																				
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																															
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																																				
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																															
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																															
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																															
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																																				
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																															
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																															
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																															
説明	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																																				
	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																												
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																																										
	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 職員数が減少していく中で、職員研修の必要性は極めて高く、少なくとも現状規模の研修が求められる。					今後の改善策等を具体的に記入します。 職場内研修や自己申告による研修を増加させるなど逐次改善を図ります。																																																																																																																																															
二次評価	庁内委員会評価																																																																																																																																																				
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																														
三次評価	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																									
	A																																																																																																																																																				
説明																																																																																																																																																					
毎年度、計画どおり研修が進められており、職員減少にあつては職員研修の必要性は高い。																																																																																																																																																					

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 8月 8日 作成

		担当課	総務グループ					
事務事業名	車両管理費		施策コード	55151218				
施策の体系	大項目	構想推進のために	法的根拠等	法令	条例	その他		
	中項目	行財政の運営						
	小項目	財政の健全運営	実施方法	直営	委託	その他		
	財務名称	車輛管理費						
事業概要	公用車両を適正に管理する。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）		(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	公用車両を対象とした一元管理を行う。		消耗品（タイヤ・ワイパー・オイル）等の一括管理 車検費・公租公課（重量税）の一括管理 自動車保険の加入・保険請求等の一括管理 修繕費の一括管理 公用車両の使用管理システム（デスクネッツ）による管理					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
	公用車両を一括管理することで、職員の機動性を効率的かつ効果的に活用する。 また、専門職員の管理により車両運行の安全性を担保する。							
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	1	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		町所有の車輛であり、直接管理することで車輛の特徴を把握し、的確な修繕対応ができる			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等		計	1	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		従来、各担当毎に行われていた管理を一元化している。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	2	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		管理を一元化することにより、車輛更新計画の策定など効率的な運用ができる			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定		計	1	点			
	区分	指標（算式）	単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	車輛台数	台	24	25	25	25
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用人数	人	13,817	14,423	17,468	
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		利用人数が伸びており、町民のニーズに対応している結果である。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						



4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																													
	区 分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																											
	事業費	千円	6,234	6,984	8,316		低下している	1点																																																																																																																											
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																											
	地方債	千円				需用費(燃料費)	2,938	上昇している																																																																																																																											
	その他	千円				需用費(車検費)	1,583	説明																																																																																																																											
(財源内訳)	一般財源	千円	6,234	6,984	8,316																																																																																																																														
(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																												
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点	車輛に大きな故障が発生しておらず、安定した運用が図られている																																																																																																																													
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点																																																																																																																														
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																														
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																														
	B		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>2</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>1</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>1</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	2	2 有効性	2	3 達成度	1	4 効果性	1	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>							0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1							B			0										-1										-2										低
	項目	点数																																																																																																																																	
	1 必要性	2																																																																																																																																	
	2 有効性	2																																																																																																																																	
	3 達成度	1																																																																																																																																	
	4 効果性	1																																																																																																																																	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																									
							A			6																																																																																																																									
										5																																																																																																																									
									4																																																																																																																										
									3																																																																																																																										
									2																																																																																																																										
									1																																																																																																																										
						B			0																																																																																																																										
									-1																																																																																																																										
									-2																																																																																																																										
									低																																																																																																																										
担当課評価		A																																																																																																																																	
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																			
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																			
現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																														
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																			
事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																														
事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																														
事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																														
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																			
制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																														
必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																														
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																														
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																			
廃止			統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																										
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難																																																																																																																										
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 公用車両の一括管理は、一定の評価に値するものと思う。				今後の改善策等を具体的に記入します。 公用車の台数は増加しているが効率的な運用を今後も進めると共に、消耗品等の経費削減に努める。																																																																																																																													
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																										
	説明		温泉バスの利用人数が増えており、走行距離も伸びているが車輛に不具合が発生することなく利用されている。 エコカー導入が進んでおり、出張に関する利用が増えていることから、経費の削減につながっている。																																																																																																																																
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																										
	説明		エコカー利用による出張旅費・燃料費の経費削減は理解するが、職員数に見合う車輛台数となっているか、効率的な運用などを含めた検討を進められたい。																																																																																																																																

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 8月 5日 作成

		担当課	総務グループ					
事務事業名		交通安全対策費			施策コード	22525438		
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備			法的	法令	条例	その他
	中項目	安全な環境の整備			根拠等	道路交通安全法基本条例		
	小項目	コミュニティ活動等			実施	直営	委託	その他
	財務名称	交通安全対策費			方法			
事業概要	交通安全の推進に係る経費							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町民（町内通過車両を含む）に対して交通安全を呼びかける。			春・秋の町民総ぐるみ交通安全運動 交通安全大会・祈願祭 各種交通安全啓発				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			交通事故の抑止を図る				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		北海道交通安全基本条例			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計		点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点					
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		交通事故の抑止			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	啓発回数	回	11	11	8	8
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	交通事故発生件数	人	1	0	0	0
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		死亡事故が発生していない			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																																				
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																																		
	事業費	千円	2,946	2,737	2,574		低下している	1点																																																																																																																																		
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																																		
	地方債	千円				報酬	1,080	上昇している																																																																																																																																		
	その他	千円						説明																																																																																																																																		
	一般財源	千円	2,946	2,737	2,574																																																																																																																																					
	(2)手法の効率化				計	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																			
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点																																																																																																																																				
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点																																																																																																																																				
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																																				
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																					
	B		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th colspan="2">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>2</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	2	4	2	有効性	2	3	達成度	1	1	4	効果性		<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>							低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高								A			6											5											4											3											2											1								B			0											-1										
	項目	点数																																																																																																																																								
1	必要性	2	4																																																																																																																																							
2	有効性	2																																																																																																																																								
3	達成度	1	1																																																																																																																																							
4	効果性																																																																																																																																									
低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																
							A			6																																																																																																																																
										5																																																																																																																																
										4																																																																																																																																
										3																																																																																																																																
										2																																																																																																																																
										1																																																																																																																																
							B			0																																																																																																																																
										-1																																																																																																																																
										-2																																																																																																																																
担当課評価	A																																																																																																																																									
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																										
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																									
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																				
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																									
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																				
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																				
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																				
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																									
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																				
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																				
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																				
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																	
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																															
	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																				
	交通事故の抑止は、国民・道民・町民の共通の願いであり、必要性の部分では異論をはさむ余地はない。					推進体制については、25年4月に二つの協議会の統合し改善しました。																																																																																																																																				
二次評価	庁内委員会評価																																																																																																																																									
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																			
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																		
説明																																																																																																																																										
町内での死亡事故は発生していない状況にある。 類似団体を統合の方向性にするなど、推進体制の充実を図っている。																																																																																																																																										
三次評価	三次評価																																																																																																																																									
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																			
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																		
説明																																																																																																																																										

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月25日 作成

		担当課	企画グループ					
事務事業名		産業活性化サポート事業費		施策コード	5515111			
施策の体系	大項目	未来を担う人材の育成		法的根拠等	法令	条例	その他	
	中項目	人材育成の推進		実施方法	産業活性化事業補助			
	小項目	人材育成			直営	委託	その他	
	財務名称	産業活性化サポート事業費		補助				
事業概要	町内において活動する各種団体等が、町内産業の育成強化と地域 経済の発展を図るため、町内産業の振興及び活性化を目指す事業、及び、町内において起業を目指し、新たな雇用を創出する事業を実施する場合において、その経費等の補助を行う。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	次のいずれにも該当する者 (1) 福島町に住所を有する個人、団体、個人事業者、法人及びNPO法人等 (2) 福島町内において町税等の滞納がない者 (3) 福島町の他の補助金や助成金を受けていないこと (2)意図（対象をどのような状態にしたいのか） (1) 活動する各種団体等が産業の振興及び活性化を目指す人材を育成し、意識の高揚を図る。 (2) 町内において起業を目指し、新たな雇用を創出する。			(1) サポート事業 ・産業技術取得等派遣研修及び研修会の開催に関する事業 ほか4事業 (2) 起業化事業 ・起業により創りだされる地域資源を活用した事業 ほか4事業				
1 必要性	(1) 町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	2	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	地域活性化の推進に有益である。	1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		町内産業振興及び活性化事業及び起業化に対し、町が積極的な支援を図る必要がある。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等		計	1	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		企業化支援策を新たに創設し、事業内容を拡大している。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性		計	2	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		各種イベントの開催、参加により地域のPRが図られている。視察研修により黒米栽培技術の向上が図られ、パッケージ改良によりイメージアップが図られている。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1) 達成度の測定		計	2	点			
	区分	指標（算式）		単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	補助金を交付した団体数	団体	3	3	1	3
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	補助金交付金額	千円	300	500	300	2,000
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		補助要綱上の事業展開が図られている。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計			点																																																																																																																									
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																						
	事業費	千円	300	500	300			低下している	1点																																																																																																																						
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																						
	地方債	千円				補助金	300	上昇している	-1点																																																																																																																						
	その他	千円						説明																																																																																																																							
	一般財源	千円	300	500	300																																																																																																																										
	(2)手法の効率化		計			1		点																																																																																																																							
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点		(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。 産業振興に加えて起業化支援も対象に加えており、今後、対象範囲を拡大することは困難である。																																																																																																																								
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点																																																																																																																										
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																										
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																						
	A		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>3</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>2</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>1</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	2	3 達成度	2	4 効果性	1	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1								B		0										-1										-2										低	達成度+効果性
項目	点数																																																																																																																														
1 必要性	3																																																																																																																														
2 有効性	2																																																																																																																														
3 達成度	2																																																																																																																														
4 効果性	1																																																																																																																														
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																						
						A			6																																																																																																																						
									5																																																																																																																						
									4																																																																																																																						
									3																																																																																																																						
									2																																																																																																																						
									1																																																																																																																						
							B		0																																																																																																																						
									-1																																																																																																																						
									-2																																																																																																																						
									低																																																																																																																						
担当課評価	A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																												
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																														
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																									
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																														
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																									
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																									
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																									
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																														
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																									
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																									
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																									
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																															
廃止			統合			縮小			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																				
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																				
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																									
	当該事業が浸透しつつあり、産業活性化に寄与しているものである。当該事業の積極的活用のため、各産業団体等に周知を図り事業を推進する。																																																																																																																														
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																					
					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																				
	説明		一次評価の内容により事業推進のこと。																																																																																																																												
三次評価	三次評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																					
					D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																				
	説明																																																																																																																														

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月30日 作成

		担当課	企画グループ					
事務事業名		バス待合所管理費			施策コード	2232321		
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備			法的根拠等	法令	条例	その他
	中項目	総合交通体系の整備						
	小項目	公共交通			実施方法	直営	委託	その他
	財務名称	バス待合所管理費				個人（近隣住民）		
事業概要	各バス待合所（福島、吉岡、白符、高校前、千軒）の維持管理を行う。 白符、千軒は除雪のみ							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	高齢者や交通弱者が利用するバス待合所の維持管理。			(1)維持管理 (2)修理				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			高齢者や交通弱者が利用しやすい環境づくりを行う。				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		比較的大きなバス待合所のため、町が管理することが適当である。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		バス利用者を増やすため、清潔で快適なバス待合所を維持する必要がある。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	1	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		バス待合所利用者に、清潔な待合所の提供が出来ている。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	清掃回数	回	780	780	780	780
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	苦情件数	件	0	0	0	0
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		バス待合所利用者から、苦情を寄せられることがない。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																																			
	区 分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																																	
	事業費	千円	1,774	1,722	1,659		低下している	1点																																																																																																																																	
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																																	
	地方債	千円				需用費	323	上昇している																																																																																																																																	
	その他	千円				役員費	9	町単価の変更により、事業費が増減する。																																																																																																																																	
(財源内訳)	一般財源	千円	1,774	1,722	1,659	委託料	1,327	説明																																																																																																																																	
(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																		
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点		ボランティア要素が強く、これ以上のコスト削減は人材確保が困難になる。																																																																																																																																			
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点																																																																																																																																					
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																																					
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																				
	B		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	3	4	2	有効性	1	3	達成度	1	2	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>						0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1							B			0										-1										-2									
	項目	点数																																																																																																																																							
1	必要性	3	4																																																																																																																																						
2	有効性	1																																																																																																																																							
3	達成度	1	2																																																																																																																																						
4	効果性	1																																																																																																																																							
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																
									6																																																																																																																																
						A			5																																																																																																																																
									4																																																																																																																																
									3																																																																																																																																
									2																																																																																																																																
									1																																																																																																																																
						B			0																																																																																																																																
									-1																																																																																																																																
									-2																																																																																																																																
									低																																																																																																																																
担当課評価	A																																																																																																																																								
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																									
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																								
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																			
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																								
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																			
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																			
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																			
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																								
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																			
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																			
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																			
説明	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																								
	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																														
一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																				
当面は、現状維持のまま事業推進を図る。また、地元町内会等へ移行の可能性についての検討が必要。																																																																																																																																									
二次評価	庁内委員会評価																																																																																																																																								
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																		
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																	
説明																																																																																																																																									
バス待合所利用者には、適正な利用環境が提供されている。																																																																																																																																									
三次評価	三次評価																																																																																																																																								
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																		
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																	
説明																																																																																																																																									
家庭ごみの不法投棄などの対応について苦慮しているところであるが、町外の方や観光客も利用する施設であるので、町のイメージアップを図るためにも清潔な利用環境の提供に努められたい。																																																																																																																																									

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月17日 作成

		担当課	企画グループ					
事務事業名		インターネット事業費			施策コード	55151154		
施策の体系	大項目	構想推進のために			法的根拠等	法令	条例	その他
	中項目	行財政の運営						
	小項目	行政運営の改革			実施方法	直営	委託	その他
	財務名称	インターネット事業費						
事業概要	町の情報を町内外に発信するため、町ホームページを開設している。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町内外のインターネット利用者全般を対象としている。			(1)観光、イベント情報の提供 (2)行政情報の提供				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			町民との情報共有を図るとともに町外へ町の情報を発信する。				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	町づくり基本条例による情報共有の手段として有効である。	1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		積極的な情報発信は、町民の行政参画のために必要であり、インターネットの活用はその目的に合っている。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		高度情報通信社会において、インターネットによる情報発信は十分妥当性がある。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	1	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		町づくり基本条例による情報共有の手段として有効である。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	情報の更新回数	件	400	400	400	400
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	アクセス件数	件	71,125	70,754	80,180	72,000
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		アクセス件数は年々増加傾向にあり、平成24年度においては当初計画を大幅に上回った。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						



4 効果性	(1)事業費の推移		計			点																																																																																																																																	
	区 分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																														
	事業費	千円	778	840	850			低下している	1点																																																																																																																														
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																														
	地方債	千円				通信運搬費	126	上昇している	-1点																																																																																																																														
	その他	千円				保守委託料	348	説明																																																																																																																															
一般財源	千円	778	840	850	使用料・賃借料	304																																																																																																																																	
	(2)手法の効率化		計			1		点																																																																																																																															
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。						1点		(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																														
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。						1点		現在の手法でしか運用できない。																																																																																																																														
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。						1点																																																																																																																																
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																														
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>2</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	3	4	2	有効性	1	3	達成度	2	3	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">低</th> <th colspan="6">必要性+有効性</th> <th colspan="2">高</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>		低		必要性+有効性						高		0	1	2	3	4	5	6	7	8~											6							A			5										4										3										2										1							B			0										-1										-2	高 達成度+効果性 低
	項目	点数																																																																																																																																					
1	必要性	3	4																																																																																																																																				
2	有効性	1																																																																																																																																					
3	達成度	2	3																																																																																																																																				
4	効果性	1																																																																																																																																					
低		必要性+有効性						高																																																																																																																															
0	1	2	3	4	5	6	7	8~																																																																																																																															
									6																																																																																																																														
						A			5																																																																																																																														
									4																																																																																																																														
									3																																																																																																																														
									2																																																																																																																														
									1																																																																																																																														
						B			0																																																																																																																														
									-1																																																																																																																														
									-2																																																																																																																														
担当課評価		A																																																																																																																																					
		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																					
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																						
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																	
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																						
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																	
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																	
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																	
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																						
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																	
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																	
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																	
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																							
廃止		統合			縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																														
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																												
一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																		
情報発信の手法としてはインターネットは有効な手法であるため、利用しやすい環境や内容の充実に努める。																																																																																																																																							
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																															
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																														
	説明		アクセス件数は、増加している状況にある。 一次評価の内容により事業推進のこと。																																																																																																																																				
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																															
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																														
	説明																																																																																																																																						

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月30日 作成

		担当課	企画グループ					
事務事業名		産学官連携産業活性化事業費			施策コード			
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的	法令	条例	その他
	中項目	農畜産業の振興			根拠等	大学との包括連携協定		
	小項目	農畜産業			実施	直営	委託	その他
	財務名称	産学官連携産業活性化事業費			方法	産業活性化受託研究		
事業概要	大学等との連携により、新たな商品開発や付加価値向上等を図り産業活性化や産業振興を推進するとともに、小中高生や地域のリーダー養成のための出前講座を開催し人材育成を図る。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	次代を担う若者、産業に従事（関連）する者、関係団体等			産業活性化ビジョンの策定 アクションプランの調査検討 小中高生を対象とした出前講座 雇用の場の拡大・創出につながる地域のリーダー養成のための出前講座				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
産業の再生と雇用の場の拡大・創出、人材育成を図る								
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	1	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		大学等との連携により、新たな商品開発や付加価値向上等を図り産業活性化や産業振興を図る			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		次代のリーダー養成、産業再生・活性化が急務である			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		産業活性化ビジョンを策定し、アクションプランの調査検討を進めている。また、出前講座を開催し人材育成が図られている。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点		
		区分	指標（算式）	単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	連携協定を締結している大学	校	1	3	3	3
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	調査研究項目	項目		3	4	4
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		新たな商品開発や付加価値向上に向け調査検討を進めている。出前講座受講生から起業を目指す視点からの地域資源を活用した商品発表や、観光体験プログラムの提案がある。			
		あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点					

4 効果性	(1)事業費の推移		計			点																																																																																																																																	
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																														
	事業費	千円	0	2,995	4,685			低下している	1点																																																																																																																														
	国・道費	千円		1,495	1,600	区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																														
	地方債	千円		1,500	2,800	受託研究委託料	2,800	上昇している	-1点																																																																																																																														
	その他	千円				報償費(出前講)	1,885	説明 H24年度より「地域再生人づくり・ものづくり出前講座」を開催し事業内容を拡充																																																																																																																															
一般財源	千円			285																																																																																																																																			
	(2)手法の効率化		計			1		点																																																																																																																															
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点		(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																															
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点		関係課(機関)と受託研究内容を協議の上、委託している																																																																																																																															
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																																	
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																														
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>2</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>2</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	2	4	2	有効性	2	3	達成度	2	3	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">低</th> <th colspan="6">必要性+有効性</th> <th colspan="2">高</th> </tr> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>		低		必要性+有効性						高		0	1	2	3	4	5	6	7	8~											6							A			5										4										3										2										1							B			0										-1										-2	高 達成度+効果性 低
	項目	点数																																																																																																																																					
1	必要性	2	4																																																																																																																																				
2	有効性	2																																																																																																																																					
3	達成度	2	3																																																																																																																																				
4	効果性	1																																																																																																																																					
低		必要性+有効性						高																																																																																																																															
0	1	2	3	4	5	6	7	8~																																																																																																																															
									6																																																																																																																														
						A			5																																																																																																																														
									4																																																																																																																														
									3																																																																																																																														
									2																																																																																																																														
									1																																																																																																																														
						B			0																																																																																																																														
									-1																																																																																																																														
									-2																																																																																																																														
担当課評価		A																																																																																																																																					
		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																					
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																						
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																	
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																						
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																	
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																	
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																	
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																						
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																	
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																	
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																	
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																							
廃止		統合			縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																														
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																												
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																	
	産業再生・活性化を図る上で、大学がこれまで培ってきたノウハウを有効活用する上で有効な手段である																																																																																																																																						
二次評価	庁内委員会評価																																																																																																																																						
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止	統合		縮小		凍結	新たな事業への転換																																																																																																																													
説明		一次評価の内容により事業推進すること。																																																																																																																																					
三次評価	三次評価																																																																																																																																						
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止	統合		縮小		凍結	新たな事業への転換																																																																																																																													
説明																																																																																																																																							

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月16日 作成

		担当課	税務グループ					
事務事業名		確定申告電算化事業費			施策コード	55151161		
施策の体系	大項目	構想推進のために			法的	法令	条例	その他
	中項目	行財政の運営			根拠等	所得税法及び地方税法		
	小項目	行政運営の改革			実施	直営	委託	その他
	財務名称	確定申告電算化事業費			方法			
事業概要	住民税賦課事務のため、システム機器一式を利用している。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町民全体の適正な課税事務を推進している。			個別面談による申告相談を受付し、システムに入力している。賦課期日に合わせ、年間スケジュールのもと合理的、効果的な計画で実施している。				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
本システムにより、町道民税申告事務作業の迅速化及び正確性の確保を図っている。								
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		事務の合理化、効率性の推進			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		町道民税申告相談の迅速化が図られる。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		・申告相談及び待ち時間が短縮され有効である。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点		・賦課事務の合理的正確性が図られる。			
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点		
		区分	指標（算式）	単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	申告及び稼働日数	日	120	120	120	120
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	申告受付件数	件	2,666	2,799	2,503	2,500
		(算式)						
		指標	申告率	%	58.55	63.05	57.66	60
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		申告期間の来客者に係る受付時間内申告相談の迅速化や、賦課資料入力における正確性を達成できる。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																																				
	区 分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																																		
	事業費	千円	1,040	1,040	1,040		低下している	1点																																																																																																																																		
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																																		
	地方債	千円				使用料及び賃借	1,040	上昇している																																																																																																																																		
	その他	千円						システムが3年間リースのため事業費は変わらない。																																																																																																																																		
(財源内訳)	一般財源	千円	1,040	1,040	1,040		説明																																																																																																																																			
(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																			
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点	確定申告システムに申告内容を入力することにより、申告終了後に行う町民税入力事務が軽減される。																																																																																																																																					
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点																																																																																																																																						
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																																						
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																					
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>4</td> <td rowspan="2">6</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>2</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	4	6	2	有効性	2	3	達成度	2	3	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>							低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高											6								A			5											4											3											2											1								B			0											-1										
	項目	点数																																																																																																																																								
1	必要性	4	6																																																																																																																																							
2	有効性	2																																																																																																																																								
3	達成度	2	3																																																																																																																																							
4	効果性	1																																																																																																																																								
低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																
										6																																																																																																																																
							A			5																																																																																																																																
										4																																																																																																																																
										3																																																																																																																																
										2																																																																																																																																
										1																																																																																																																																
							B			0																																																																																																																																
										-1																																																																																																																																
										-2																																																																																																																																
担当課評価	A																																																																																																																																									
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																										
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																									
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																				
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																									
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																				
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																				
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																				
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																									
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																				
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																				
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																				
説明	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																									
	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																	
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																															
	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。現状のままの継続で問題ないと考える。					今後の改善策等を具体的に記入します。さらなる申告相談の迅速化を図る。																																																																																																																																				
二次評価	庁内委員会評価																																																																																																																																									
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																			
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																		
三次評価	A																																																																																																																																									
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																			
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																		
説明																																																																																																																																										

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 8月 1日 作成

		担当課	住民グループ						
事務事業名		保育所費		施策コード	130441411				
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実		法的	法令	条例	その他		
	中項目	社会福祉の充実		根拠等	児童福祉法				
	小項目	児童・母（父）子家庭		実施	直営	委託	その他		
	財務名称	保育所費		方法					
<b>事業概要</b> 保護者の就労等の理由により家庭での保育が困難な就学前児童を、保護者に代わり保育する。（定員60名） 保育所に併設している子育て支援センターにおいて、保育所や幼稚園を利用していない親子の交流の場を確保するとともに、育児相談等に対応している。									
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	保護者の就労等の理由により家庭での保育が困難な就学前児童。保育所や幼稚園を利用していない就学前の親子。			保護者の就労等の理由により家庭での保育が困難な就学前児童を、保護者に代わり保育する。（0歳児 1名、1歳児 2名、2歳児 10名、3歳児 10名、4歳児 9名、5歳児 11名）子育て支援センターを開放し、親子の交流の場を確保するとともに、面談、電話による育児相談等に対応。					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）								
保護者に代わり保育することにより、就学前児童の健全育成を図る。保育所や幼稚園を利用していない親子の交流促進、育児に関する不安や悩みの解消を図る。									
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点			
	法令等で実施が義務付けられている事業。			1点	追加事由	1点			
	生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。			1点	内部管理・運営等の事業。（点数対象外）				
	社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。			1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
	町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。			1点	児童福祉の増進を図る上で、重要（中心的）な役割を担っている。				
	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。			1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点			
	国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。			1点	法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）				
	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。			1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。			1点	保護者が安心して働くことのできる環境づくりが図られるとともに、就学前児童の健全育成が図られる。				
限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。			1点	保育所や幼稚園を利用していない親子の交流の場を確保するとともに、育児に関する不安や悩みの解消が図られる。					
追加事由			1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点			
	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。			1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
	事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。			1点	児童福祉の増進を図る上で、重要（中心的）な役割を担っており、事業の実施による貢献度は高い。				
	類似した事業との統合や連携を図る余地はない。			1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。			1点					
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点			
	区分		指標（算式）		単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	開所日数		日	287	293	292	292
		(算式)							
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	入所者数		人	57	47	43	30
		(算式)							
		指標							
		(算式)							
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。			1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）			1点	入所児童数は減少傾向にあるが、多様化する保育ニーズに対応するため、一時保育の実施や保育時間を延長するなど、利便性の向上を図っている。				
あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）			-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点			
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額	
	事業費	千円	24,783	23,814	26,613		低下している	1点	
	国・道費	千円	4,954	4,421	3,873	区分(節) 金額	変わらない	0点	
	地方債	千円				賃金(保育士・)	13,203	上昇している	-1点
	その他	千円	12,271	11,954	10,064	需用費(給食材)	5,574	説明 障害児保育の実施や子育て支援センターの充実等によって人件費が増加しているが、児童の安全確保のためには必要である。	
一般財源	千円	7,558	7,439	12,676	共済費(社会保)	2,172			
	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。	
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1	点	児童福祉の増進を図る上で重要(中心的)な役割を担っている施設であり、利用者の安全確保を第一に考慮した体制の整備が必要である。		
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1	点			
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1	点			

項目別点数による評価	項目別点数による評価結果	項目別点数表		必要性+有効性										高
	A	項目	点数	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	6	達成度+効果性
		1	必要性	4									5	
		2	有効性	2						A			4	
		3	達成度	2									3	
		4	効果性	1									2	
													1	
										B			0	
													-1	
													-2	低

担当課評価	A	上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。
-------	---	--

一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)	現状のまま事業を継続	事業を拡充して継続				
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)	事業の簡素化、効率化による改善	執行体制の見直し(外部委託等)による改善				
		事業手法の見直しによる改善	住民参加等の推進による改善				
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善	その他効果的・効率的手法の検討による改善				
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)	制度・事業内容の全面的な見直しを検討	対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討				
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討	他の事業、類似事業への統合・転換を検討				
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討	その他				
	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換	
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨		廃止可能	条件が整えば廃止検討可能	廃止は困難	その他

説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。	今後の改善策等を具体的に記入します。
	児童福祉施設である保育所は、保育に欠ける子どもの発達や保護者への支援等、子育て支援の施設として重要な役割を担っている。	平成25年4月の認定こども園開設に向けて事務を推進し、吉岡幼稚園の閉園に伴う幼児の受入を可能とする。

二次評価	庁内委員会評価	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要		
		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結
	説明	平成25年度に認定こども園開設の目途がついた。				

三次評価	三次評価	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要		
		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結
	説明					

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 8月 1日 作成

		担当課	住民グループ					
事務事業名	学童保育費		施策コード	133441411				
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実	法的	法令	条例	その他		
	中項目	社会福祉の充実	根拠等	児童福祉法				
	小項目	児童・母（父）子家庭	実施	直営	委託	その他		
	財務名称	学童保育費	方法					
事業概要	学童保育に児童を預けることにより、保護者が安心して働くことができる環境づくりを推進する。（定員30名）							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）		(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	小学校に就学している小学3年生以下の児童で、小学校の授業終了後等に、保護者が就労等により保育に欠ける学童、その他町長が必要と認める学童。		小学校の空き教室等を利用して、学童の余暇指導を行っている。（H24年度登録児童数 1年生 9名、2年生 11名、3年生 2名、5年生 3名）					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）		保護者に代わり保育することにより、学童の健全な育成を図る。					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）		計	2	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		学童の健全育成を図る上で、必要不可欠である。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等		計	1	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		保護者が安心して働くことのできる環境づくりが図られる（ひとり親家庭の就労促進、夫婦共働き家庭の増加など）			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性		計	2	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		保護者が安心して働くことのできる環境づくりとともに、学童の健全育成を図る上で貢献度は高い。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定		計	2	点			
	区分	指標（算式）	単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	開所日数	日	254	256	256	256
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	登録人数	人	39	35	25	18
		(算式)						
		指標	平均利用者数	人	19	18	15	18
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		登録児童数は減少傾向にあるが、保護者が安心して働くことのできる環境づくりとともに、学童の健全育成を図ることができた。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						



4 効果性	(1)事業費の推移			計	点																																																																																																																											
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																							
	事業費	千円	5,389	6,399	6,529			低下している	1点																																																																																																																							
	国・道費	千円	1,441	2,535	2,572	区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																							
	地方債	千円				指導員賃金	4,984	上昇している	-1点																																																																																																																							
	その他	千円	1,634	1,642	1,490	共済費(社会保)	1,068	説明 事業総額はほぼ横ばいで推移している。																																																																																																																								
一般財源	千円	2,314	2,222	2,467	需用費(消耗品)	399																																																																																																																										
(2)手法の効率化				計	1	点																																																																																																																										
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。 事業総額及び一般財源額は、ほぼ横ばいで推移している。																																																																																																																										
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点																																																																																																																											
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																											
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																											
	A		<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>3</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>2</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>1</td></tr> </table>		項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	2	3 達成度	2	4 効果性	1	<table border="1"> <tr><th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8~</th><th>高</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>A</td><td></td><td></td><td>6</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>B</td><td></td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-1</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>-2</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>低</td></tr> </table>					0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高							A			6										5										4										3										2										1							B			0										-1										-2									
項目	点数																																																																																																																															
1 必要性	3																																																																																																																															
2 有効性	2																																																																																																																															
3 達成度	2																																																																																																																															
4 効果性	1																																																																																																																															
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																							
						A			6																																																																																																																							
									5																																																																																																																							
									4																																																																																																																							
									3																																																																																																																							
									2																																																																																																																							
									1																																																																																																																							
						B			0																																																																																																																							
									-1																																																																																																																							
									-2																																																																																																																							
									低																																																																																																																							
担当課評価	A																																																																																																																															
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																															
	現状のまま事業を継続				事業を拡充して継続																																																																																																																											
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																															
	事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																											
	事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善																																																																																																																											
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																											
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																															
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																											
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																											
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他																																																																																																																											
説明	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																															
	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																							
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨				廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																					
一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																											
登録児童数の増加に伴う利用児童に対する安全面の配慮から、指導員の配置体制の見直しや、一時的に保育に欠ける学童の受け入れ態勢を整備し、事業内容の充実を図っており、学童の健全育成を図る上で継続すべき事業である。																																																																																																																																
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																							
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																					
説明		一次評価の内容により事業推進のこと。																																																																																																																														
三次評価	三次評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																							
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																					
説明																																																																																																																																

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 8月 7日 作成

		担当課	保健福祉グループ						
事務事業名		健康づくり推進費			施策コード	44242101			
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的	法令	条例	その他	
	中項目	健康づくりの推進			根拠等	いきいき健康ふくしま			
	小項目	保健予防			実施	直営	委託	その他	
	財務名称	健康づくり推進費			方法	直営			
事業概要	(1) 健康づくり推進員の配置 (2) 健康フェスティバル								
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	全町民			(1) 広報やチラシにより健康に対する知識の普及 (2) 健康フェスティバルの実施					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			(1) 町民の健康増進を図る。 (2) 疾病の早期発見					
1 必要性	(1) 町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	3	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	(1) 町とフェスティバル実行委員会の事業			1点	
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		(1) 町民の健康意識の向上と福祉の増進を図る上で必要不可欠である。				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点						
		(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等	計	1	点				
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		(1) 健康に関する意識が深まる。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点							
	追加事由	1点							
2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性			計	3	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点		(1) 推進員は各種健診の声かけ及び健康づくりの普及活動をしている。 (2) 健康フェスティバルは、健康への気づきを与える機会として有効である。				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点						
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点							
3 達成度	(1) 達成度の測定			計	1	点			
		区分	指標（算式）		単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	実施回数		回	1	1	1	1
		(算式)							
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	健康づくり推進員		人	40	40	40	40
		(算式)							
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	参加人数		人	220	200	250	250
		(算式)							
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	活動日数		日	13	13	13	13
		(算式)							
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。					
	意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点		(1) 各町内会に健康づくり推進員の配置により町民の健康意識が高まる。					
	あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点							

4 効果性	(1)事業費の推移		計			1	点																																																																																																																									
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																							
	事業費	千円	925	945	793			低下している	1点																																																																																																																							
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																							
	地方債	千円				報酬	396	上昇している	-1点																																																																																																																							
	その他	千円				需用費	119	説明 (1)健康フェスティバルは実行委員会で協賛金を募って実施している。																																																																																																																								
一般財源	千円	925	945	793																																																																																																																												
項目別点数による評価	(2)手法の効率化		計			1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																								
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。						1点		(1)健康フェスティバル実行委員会と町の共催により町負担の軽減が図られる。																																																																																																																							
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。						1点																																																																																																																									
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。						1点																																																																																																																									
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																							
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 必要性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2 有効性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3 達成度</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4 効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		項目	点数	1 必要性	4	2 有効性	3	3 達成度	1	4 効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1										0										-1										-2										低	達成度+効果性	
	項目	点数																																																																																																																														
	1 必要性	4																																																																																																																														
	2 有効性	3																																																																																																																														
	3 達成度	1																																																																																																																														
	4 効果性	2																																																																																																																														
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																						
										6																																																																																																																						
							A			5																																																																																																																						
									4																																																																																																																							
									3																																																																																																																							
									2																																																																																																																							
									1																																																																																																																							
									0																																																																																																																							
									-1																																																																																																																							
									-2																																																																																																																							
									低																																																																																																																							
担当課評価		A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。		評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																										
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)		現状のまま事業を継続		事業を拡充して継続																																																																																																																												
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)		事業の簡素化、効率化による改善		執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																												
		事業手法の見直しによる改善		住民参加等の推進による改善																																																																																																																												
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善		その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																												
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)		制度・事業内容の全面的な見直しを検討		対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																												
		必要性等を再検証し事業規模、計画等を見直しを検討		他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																												
		計画期間の延伸、事業費平準化等を見直しを検討		その他																																																																																																																												
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)		廃止		統合		縮小		凍結																																																																																																																								
		新たな事業への転換																																																																																																																														
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨		廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																								
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。		町民の健康意識の向上及び各種保険事業のため、必要不可欠である。		今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																										
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																									
			D 事業の抜本の見直しを検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																							
	A		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																											
説明		一次評価の内容により事業推進のこと。																																																																																																																														
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																									
			D 事業の抜本の見直しを検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																							
	A		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																											
説明																																																																																																																																

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 8月 7日 作成

		担当課	保健福祉グループ						
事務事業名		健康づくり推進費			施策コード	44242101			
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的根拠等	法令	条例	その他	
	中項目	健康づくりの推進			実施方法	いきいき健康ふくしま			
	小項目	保健予防				直営	委託	その他	
	財務名称	健康づくり推進費			直営				
事業概要	(1) 健康づくり推進員の配置				(2) 健康フェスティバル				
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	全町民			(1) 広報やチラシにより健康に対する知識の普及 (2) 健康フェスティバルの実施					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			(1) 町民の健康増進を図る。 (2) 疾病の早期発見					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	3	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	(1) 町とフェスティバル実行委員会の事業			1点	
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		(1) 町民の健康意識の向上と福祉の増進を図る上で必要不可欠である。				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点						
		(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		追加事由	法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			-
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		(1) 健康に関する意識が深まる。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点							
		追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	3	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。					
		事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点	(1) 推進員は各種健診の声かけ及び健康づくりの普及活動をしている。 (2) 健康フェスティバルは、健康への気づきを与える機会として有効である。					
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点						
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点							
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点			
	区分	指標（算式）		単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	実施回数	回	1	1	1	1	
		(算式)							
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	健康づくり推進員	人	40	40	40	40	
		(算式)							
		指標	参加人数	人	220	200	250	250	
		(算式)							
		指標	活動日数	日	13	13	13	13	
		(算式)							
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。						
	意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点	(1) 各町内会に健康づくり推進員の配置により町民の健康意識が高まる。						
	あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点							

4 効果性	(1)事業費の推移				計	1	点																																																																																																																						
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																				
	事業費	千円	925	945	793			低下している	1点																																																																																																																				
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																				
	地方債	千円				報酬	396	上昇している	-1点																																																																																																																				
	その他	千円				需用費	119	説明 (1)健康フェスティバルは実行委員会で協賛金を募って実施している。																																																																																																																					
	一般財源	千円	925	945	793																																																																																																																								
	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																					
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。							(1)健康フェスティバル実行委員会と町の共催により町負担の軽減が図られる。																																																																																																																					
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。							1点																																																																																																																					
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。							1点																																																																																																																					
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高		高 達成度+効果性 低																																																																																																																		
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>4</td> <td rowspan="2">7</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性		4	7	2	有効性	3	3	達成度	1	3	4	効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>		0	1	2	3	4	5	6	7	8~											6							A			5										4										3										2										1							B			0										-1										-2
	項目	点数																																																																																																																											
1	必要性	4	7																																																																																																																										
2	有効性	3																																																																																																																											
3	達成度	1	3																																																																																																																										
4	効果性	2																																																																																																																											
0	1	2	3	4	5	6	7	8~																																																																																																																					
									6																																																																																																																				
						A			5																																																																																																																				
									4																																																																																																																				
									3																																																																																																																				
									2																																																																																																																				
									1																																																																																																																				
						B			0																																																																																																																				
									-1																																																																																																																				
									-2																																																																																																																				
担当課評価	A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																										
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																												
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																							
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																												
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																							
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																							
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																							
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																												
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																							
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																							
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																							
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																													
廃止			統合			縮小			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																		
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																		
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																							
	町民の健康意識の向上及び各種保険事業のため、必要不可欠である。																																																																																																																												
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																			
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																
	説明		一次評価の内容により事業推進のこと。																																																																																																																										
三次評価	三次評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																			
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																
	説明																																																																																																																												

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 8月 7日 作成

		担当課	保健福祉グループ						
事務事業名		ガン検診推進事業費			施策コード	44242101			
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的	法令	条例	その他	
	中項目	健康づくりの推進			根拠等	いきいき健康ふくしま			
	小項目	保健予防			実施	直営	委託	その他	
	財務名称	ガン検診推進事業費			方法	医療機関への委託			
事業概要	各がん検診を実施し、受診率が向上することにより早期発見、早期治療が可能となり医療費の抑制が図られる。								
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	胃がん検診 40歳以上の町民 肺がん検診 40歳以上の町民 大腸がん検診 30歳以上の町民 乳がん検診 30歳以上の町民（女性） 子宮がん検診 20歳以上の町民（女性）			(1) 集団及び個別のがん検診の実施 (2) 広報やチラシによる意識啓発					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）								
(1) 疾病の早期発見、早期治療を図り、医療費の抑制を図る。									
1 必要性	(1) 町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点			
	法令等で実施が義務付けられている事業。			1点	追加事由	1点			
	生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。			1点	内部管理・運営等の事業。（点数対象外）				
	社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。			1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
	町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。			1点	町民の生命を守るため、自治体の最低限の施策の一つである。				
	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。			1点					
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点			
	国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。			1点	法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）				
	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。			1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。			1点	死亡原因の第1位であるがんの検診を毎年受診することにより、町民の健康を守ることができる。				
限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。			1点						
追加事由			1点						
2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性			計	3	点			
	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。			1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
	事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。			1点	早期発見のために検診は欠かせない事業である。				
	類似した事業との統合や連携を図る余地はない。			1点					
町民参加と自治意識の向上が図られている。			1点						
3 達成度	(1) 達成度の測定			計	2	点			
	区分	指標（算式）		単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	胃がん検診受診者数		人	380	380	380	380
		(算式)							
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	子宮がん検診受診者数		人	210	210	210	210
		(算式)							
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	胃がん検診受診者数		人	215	197	193	200
		(算式)							
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	子宮がん検診受診者数		人	125	120	117	120
		(算式)							
活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。			1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。					
意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）			1点	集団検診のほか個別検診の導入により効果があった。					
あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）			-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																																				
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																																		
	事業費	千円	3,198	3,019	3,763		低下している	1点																																																																																																																																		
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																																		
	地方債	千円				委託料	3,667	上昇している																																																																																																																																		
	その他	千円	984	944	1,129			説明	24年度よりABC検診を実施したため。																																																																																																																																	
	一般財源	千円	2,214	2,075	2,634																																																																																																																																					
	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																		
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1	点	医療機関への委託のため、経費の節減は難しい。																																																																																																																																		
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1	点																																																																																																																																			
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1	点																																																																																																																																			
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																					
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>4</td> <td rowspan="2">7</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>2</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	4	7	2	有効性	3	3	達成度	2	3	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>							低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高								A			6											5											4											3											2											1								B			0											-1										
	項目	点数																																																																																																																																								
1	必要性	4	7																																																																																																																																							
2	有効性	3																																																																																																																																								
3	達成度	2	3																																																																																																																																							
4	効果性	1																																																																																																																																								
低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																
							A			6																																																																																																																																
										5																																																																																																																																
										4																																																																																																																																
										3																																																																																																																																
										2																																																																																																																																
										1																																																																																																																																
							B			0																																																																																																																																
										-1																																																																																																																																
										-2																																																																																																																																
担当課評価	<p>上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。</p> <p>評価は、次のA～Dによります。</p>																																																																																																																																									
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																									
	現状のままで事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																				
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																									
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																				
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																				
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																				
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																									
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																				
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																				
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																				
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																										
廃止		統合			縮小			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																															
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																				
	疾病予防のため、引き続き事業の継続が不可欠である。					実施回数を増やすことにより、受診率の向上を図る。共済・社保などの職場の検診受診者を把握できていないため、保険者からの入手方法の検討が課題である。																																																																																																																																				
二次評価	<table border="1"> <tr> <td>A 現状にて事業を継続または拡充</td> <td colspan="3">B 事業の進め方の改善・検討が必要</td> <td colspan="4">C 事業規模、内容の見直しが必要</td> </tr> <tr> <td>D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨</td> <td>廃止</td> <td>統合</td> <td>縮小</td> <td>凍結</td> <td colspan="4">新たな事業への転換</td> </tr> </table>										A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要				D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																		
	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																					
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																				
<p>説明</p> <p>予防医療の推進には、不可欠な事業である。</p> <p>一次評価の内容により事業推進のこと。</p>																																																																																																																																										
三次評価	<table border="1"> <tr> <td>A 現状にて事業を継続または拡充</td> <td colspan="3">B 事業の進め方の改善・検討が必要</td> <td colspan="4">C 事業規模、内容の見直しが必要</td> </tr> <tr> <td>D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨</td> <td>廃止</td> <td>統合</td> <td>縮小</td> <td>凍結</td> <td colspan="4">新たな事業への転換</td> </tr> </table>										A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要				D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																		
	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																					
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																																				
<p>説明</p>																																																																																																																																										

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 8月 7日 作成

		担当課	保健福祉グループ					
事務事業名		温泉健康保養センター管理運営費			施策コード	44141701		
施策の体系	大項目	全ての源「健康福祉」の充実			法的	法令	条例	その他
	中項目	社会福祉の充実			根拠等	健康保養センター条例		
	小項目	福祉推進体制			実施	直営	委託	その他
	財務名称	温泉健康保養センター管理運営費			方法	直営		
事業概要	施設の維持管理運営費							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	全町民			(1) 65歳以上高齢者等への優待券の配布 (2) 送迎バスの運行 (3) 直営であるが、管理は民間に委託				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
			町民の健康増進を図るための、温泉健康保養センターの維持管理。					
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	3	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		(1) 温泉健康保養センター条例 (2) 町内で唯一の入浴施設			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		(1) 利用者数は、増加している。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由 (1) 町民の健康増進に寄与	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	3	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		(1) 町民の心身の保養と健康増進を図る。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	営業日	日	296	314	312	312
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	入館者数	人	58,575	60,965	62,173	63,000
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		(1) 入館者数は、増加している。			
		あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点					



4 効果性	(1)事業費の推移				計	点									
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額							
	事業費	千円	42,726	44,973	55,610		低下している	1点							
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない							
	地方債	千円				需用費	24,060	上昇している							
	その他	千円	16,344	18,628	19,206	委託料	26,339	燃料費の高騰により増加している。							
(財源内訳)	一般財源	千円	26,382	26,345	36,404		説明								
項目別点数による評価	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。							
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1	点	施設管理は、民間委託している。							
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1	点								
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1	点								
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果	項目別点数表				低 必要性+有効性 高									
	A		項目	点数	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高	
		1	必要性	5	8									6	
		2	有効性	3											5
		3	達成度	2	3										4
		4	効果性	1											
															2
															1
															0
															-1
														-2	
	担当課評価	上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。													
二次評価	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)	現状のまま事業を継続		事業を拡充して継続											
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)	事業の簡素化、効率化による改善		執行体制の見直し(外部委託等)による改善											
		事業手法の見直しによる改善		住民参加等の推進による改善											
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善		その他効果的・効率的手法の検討による改善											
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)	制度・事業内容の全面的な見直しを検討		対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討											
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討		他の事業、類似事業への統合・転換を検討											
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討		その他											
	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)	廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換					
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨		廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他					
	説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。				今後の改善策等を具体的に記入します。									
町民の健康維持のための保養施設として、継続して施設運営する。				指定管理者、省エネ対策及び施設の改修について検討中である。											
三次評価	庁内委員会評価	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要										
		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換								
	A	説明													
		町民の健康維持のため必要な施設である。 一次評価の内容により事業推進のこと。													
三次評価	三次評価	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要										
		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換								
	A	説明													

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 8月26日 作成

		担当課	農林グループ					
事務事業名		活性化センター管理運営費			施策コード	1121211		
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的	法令	条例	その他
	中項目	農畜産業の振興			根拠等	福島町活性化センター		
	小項目	農畜産業			実施	直営	委託	その他
	財務名称	活性化センター管理運営費			方法	条例		
事業概要	快適に利用できるように、施設の維持管理を行う。（千軒地区：あづまーる）							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	全町民及び周辺住民			(1)維持管理 (2)小破修繕 (3)管理委託を千軒町内会へ委託				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			農業振興の推進や地域の交流と福祉の増進を図る。				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	地域住民の交流の場や研修の場としての情報発信拠点として大きな役割を担っている。	1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		道営事業で整備した施設であるが、その後町に譲渡され、施設の維持管理を千軒町内会に委託してる。			
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		千軒地区の交流の拠点となっている施設であるとともに、地域農業振興の活動の場としても広く利用している。			
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由 追加地域農業振興の場としても機能している状況にある。	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		福島町の農村振興の活動拠点として情報発信することにより町の活性化につながる。			
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点		
		区分	指標（算式）	単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	利用者数	人	1,692	2,043	2,284	2,000
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用者一人当たりの管理費	円	350	300	280	319
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		地域の交流や研修の場として大きな役割を担っている。また、千軒活性化実行委員会や千軒そばの会の活動拠点となっており、福島町の食・伝統文化・自然・歴史を町内外に広く情報発信する拠点となっている。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計			点																																																																																																																															
	区 分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																												
	事業費	千円	637	592	638			低下している	1点																																																																																																																												
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																												
	地方債	千円				需用費・役務費	370	上昇している	-1点																																																																																																																												
	その他	千円				委託料	221	横ばいで推移している。																																																																																																																													
(財源内訳)	一般財源	千円	637	592	638	使用料及び賃借		説明																																																																																																																													
(2)手法の効率化		計			1		点																																																																																																																														
現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点		(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																														
執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点		最低の時間単価で委託し運営している。																																																																																																																														
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																																
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																												
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td rowspan="2">5</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>2</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	3	5	2	有効性	2	3	達成度	2	3	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1							B			0										-1										-2									
	項目	点数																																																																																																																																			
1	必要性	3	5																																																																																																																																		
2	有効性	2																																																																																																																																			
3	達成度	2	3																																																																																																																																		
4	効果性	1																																																																																																																																			
0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																												
									6																																																																																																																												
						A			5																																																																																																																												
									4																																																																																																																												
									3																																																																																																																												
									2																																																																																																																												
									1																																																																																																																												
						B			0																																																																																																																												
									-1																																																																																																																												
									-2																																																																																																																												
									低																																																																																																																												
担当課評価	A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																		
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																				
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																															
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																				
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																															
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																															
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																															
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																				
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																															
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																															
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																															
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																					
廃止		統合			縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																												
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																											
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																															
	地域の交流や研修の場として、また、町の農村振興推進の情報発信拠点であり、今後も継続的な管理が必要である。					今後、施設の経年劣化に伴い修繕が必要となってくることから、施設の定期点検と計画的な維持補修計画を検討する必要がある。																																																																																																																															
二次評価	庁内委員会評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																												
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																										
説明		千軒地区の交流の場であるとともに、町外との交流や研修の場として利用されており、交流拠点となっている。 一次評価の内容により事業推進のこと。																																																																																																																																			
三次評価	三次評価		A		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																												
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																										
説明																																																																																																																																					

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月25日 作成

		担当課	農林グループ						
事務事業名		熊等による被害対策費			施策コード	1131311			
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的	法令	条例	その他	
	中項目	林業の振興			根拠等	鳥獣の保護及び狩猟の			
	小項目	林業			実施	直営	委託	その他	
	財務名称	熊等による被害対策費			方法	適正化に関する法律			
事業概要	有害鳥獣からの被害を防止すること及び安全な地域住民の生活環境の確保を図るため危険箇所の巡回や捕獲を実施する。 （1）ハンター保険23千円、（2）ハンター賃金521千円、（3）報償費307千円								
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	全町民を対象とする。			（1）熊等の事故を未然に防ぐため、危険箇所への出没看板の設置を行い、地域住民への注意喚起を実施するとともに、有害駆除に係るハンター委嘱を行い対応している。 （2）熊等の出没情報を基に委嘱ハンターへ巡視を依頼し、必要に応じて箱わな等により捕獲対応している。					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）								
熊等による事故を未然に防止及び、近年の増加しているエゾシカの食害被害を抑制する。									
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点			
	法令等で実施が義務付けられている事業。			1点	追加事由	農林業の振興からも必要事業である。		1点	
	生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。			1点	内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			-	
	社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。			1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
	町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。			1点	ヒグマ、エゾシカが年々増加している状況であり、農林業者の労働意欲確保及び生産所得確保の観点から行っている。				
	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。			1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点			
	国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。			1点	法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			-	
	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。			1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。			1点	農林業被害の抑制や住民の民生安定を図るために必要な事業である。				
限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。			1点						
追加 熊等の出没情報や農林業等の被害が増加し住民からの対策要請が理由(高い)			1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点			
	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。			1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
	事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。			1点	有害鳥獣を捕獲することにより、農林業被害の抑制と民生安定へつながる。				
	類似した事業との統合や連携を図る余地はない。			1点					
町民参加と自治意識の向上が図られている。			1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点			
	区分	指標（算式）		単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	捕獲数		頭	55	71	26	46
		(算式)							
		指標							
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	捕獲1頭当の対策費		千円	11	10	11	12
		(算式)							
		指標							
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。			1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）			1点	捕獲数が増えることによって事業費は増加することになるが、各種被害抑制や民生安定が図られた。				
あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）			-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	1	点																																																																																																																												
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																										
	事業費	千円	1,729	1,809	1,092			低下している	1点																																																																																																																										
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない		0点																																																																																																																									
	地方債	千円				共済費、賃金、	770	上昇している		-1点																																																																																																																									
	その他	千円				報償費	264	説明		捕獲頭数が減少傾向にある。																																																																																																																									
	一般財源	千円	1,729	1,809	1,092																																																																																																																														
項目別点数による評価	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																											
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1	点	必要最小限の出勤となっており、更なる効率化は困難な状況にある。																																																																																																																											
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1	点																																																																																																																												
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1	点																																																																																																																												
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																														
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 必要性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2 有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3 達成度</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>4 効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		項目	点数	1 必要性	4	2 有効性	2	3 達成度	1	4 効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>							0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1							B			0										-1										-2										低
	項目	点数																																																																																																																																	
	1 必要性	4																																																																																																																																	
	2 有効性	2																																																																																																																																	
	3 達成度	1																																																																																																																																	
	4 効果性	2																																																																																																																																	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																									
										6																																																																																																																									
							A			5																																																																																																																									
									4																																																																																																																										
									3																																																																																																																										
									2																																																																																																																										
									1																																																																																																																										
						B			0																																																																																																																										
									-1																																																																																																																										
									-2																																																																																																																										
									低																																																																																																																										
担当課評価		A																																																																																																																																	
上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																			
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																			
現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																														
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																			
事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																														
事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																														
事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																														
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																			
制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																														
必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																														
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																														
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																			
廃止			統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																										
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難																																																																																																																										
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 農林被害抑制や民生安定の確保の観点から非常に重要な事業である。				今後の改善策等を具体的に記入します。 鳥獣等の増加が今後も進む見込みであり、より対策を強化する必要がある。																																																																																																																													
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																										
	説明		農林被害の抑制と事故の未然防止が図られている。 一次評価の内容により事業推進のこと。																																																																																																																																
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換																																																																																																																										
	説明																																																																																																																																		

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月30日 作成

		担当課	水産グループ					
事務事業名		水産加工協議会補助費			施策コード	1111113		
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的根拠等	法令	条例	その他
	中項目	水産業の振興			町内のイカゴロ処理事			
	小項目	水産業			実施方法	直営	委託	その他
	財務名称	水産加工協議会補助費			務 福島町水産加工振			
事業概要	福島町水産加工振興協議会運営補助。 拡大のための視察等を実施			事業内容として水産加工の振興のため情報交換、調査等や製品販路				
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	水産加工事業者で構成される団体に対して、水産加工業の振興を目的に補助金を交付する。 （福島町水産加工振興協議会へ交付）			団体の運営を図るため補助金を予算の範囲内（360千円）を交付。				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			団体の運営を図るため補助金を交付しているが、将来は自主運営を希望する。				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	1	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）			-
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	(説明)関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	町内の全水産加工場が加入。当初はイカ残の処理対策が中心であったが現在はその他情報交換の場となっている。				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）			-
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明)妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	水産加工振興上必要事項である。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	(説明)有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標(事業の意図)の向上が期待できる。	1点	団体運営上必要である。				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	水産加工振興協議会会議	回	7	4	3	2
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	構成員出席率	%	60	50	70	100
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明)成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
		意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点	補助金により事業が達成できる。				
		あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点					

4 効果性	(1)事業費の推移		計			点																																																																																																																																			
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																																
	事業費	千円	360	360	360			低下している	1点																																																																																																																																
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																																
	地方債	千円				補助金	360	上昇している	-1点																																																																																																																																
	その他	千円						説明	イカゴロ処理事務にかかる事務費として月3万円の12カ月分を計上しているため変更なし。																																																																																																																																
一般財源	千円	360	360	360																																																																																																																																					
項目別点数による評価	(2)手法の効率化		計			1		点																																																																																																																																	
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点		(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。 事業が効率的に行える。																																																																																																																																	
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点																																																																																																																																			
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																																			
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																				
	B		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th colspan="2">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>2</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	2	4	2	有効性	2	3	達成度	1	2	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>					低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高											6								A			5											4											3											2											1								B			0											-1											-2
		項目	点数																																																																																																																																						
	1	必要性	2	4																																																																																																																																					
	2	有効性	2																																																																																																																																						
	3	達成度	1	2																																																																																																																																					
	4	効果性	1																																																																																																																																						
	低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																														
											6																																																																																																																														
								A			5																																																																																																																														
										4																																																																																																																															
										3																																																																																																																															
										2																																																																																																																															
										1																																																																																																																															
							B			0																																																																																																																															
										-1																																																																																																																															
										-2																																																																																																																															
担当課評価		A																																																																																																																																							
		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。																																																																																																																																							
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																									
		現状のまま事業を継続				事業を拡充して継続																																																																																																																																			
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																									
		事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																			
		事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善																																																																																																																																			
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																			
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																									
		制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																			
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																			
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他																																																																																																																																			
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																									
		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																															
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨				廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難																																																																																																																															
		廃止は困難				その他																																																																																																																																			
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 協議会の発足当初はイカ残浄処理対策を目的としていたが、現在はスルメのPR等各活動の範囲が広がっております。				今後の改善策等を具体的に記入します。 今後は益々雇用問題を含め協議会の質の重要性が求められるので対策を強化する必要があります。																																																																																																																																			
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																		
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																																
			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																				
説明		共通課題の方向性を決定する機関として必要性がある。																																																																																																																																							
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																		
			D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																																
			凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																				
説明																																																																																																																																									

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月22日 作成

		担当課	水産グループ					
事務事業名		漁村環境改善総合センター運営費			施策コード	1111112		
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実			法的根拠等	法令	条例	その他
	中項目	水産業の振興				実施方法	直営	委託
	小項目	水産業						
	財務名称	漁村環境改善総合センター運営費						
事業概要	施設の維持管理							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町民			集会施設として利用				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）			施設利用者に対し快適な利用を供給				
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	町関与の根拠追加理由	1点		
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	町民の集会場として必要不可欠である				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	施設利用者に対し快適な利用を提供				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加社会情勢の追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	1	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点	利用者に対し利便を提供できる				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	利用者数	人	1,044	1,029	762	500
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	利用者一人当たりの管理費	円	2,622	2,504	3,146	5,224
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	維持管理することで、利用者に対し効果が上がる				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						



		(1)事業費の推移				計		点							
		区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額						
4 効果性	(財源内訳)	事業費	千円	2,738	2,577	2,347		低下している	1点						
		国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点					
		地方債	千円				需用費	1,186	上昇している	-1点					
		その他	千円				委託料	949	利用者の増加						
		一般財源	千円	2,738	2,577	2,347			説明						
		(2)手法の効率化				計		2点							
		現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。						1点							
		執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。						1点							
		外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。						1点							
								(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。 修繕等を行うことにより効果がある							
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果 A	項目別点数表				低 必要性+有効性 高									
			項目	点数		0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高
		1	必要性	3	4										6
2	有効性	1									A			5	
3	達成度	1	3											4	
4	効果性	2													3
														2	
														1	
														0	
														-1	
														-2	
														低	
担当課評価		A								上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。					
一次評価(担当課評価)		A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)													
		現状のまま事業を継続				事業を拡充して継続									
		B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)													
		事業の簡素化、効率化による改善				執行体制の見直し(外部委託等)による改善									
		事業手法の見直しによる改善				住民参加等の推進による改善									
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善				その他効果的・効率的手法の検討による改善									
		C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)													
		制度・事業内容の全面的な見直しを検討				対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討									
		必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討				他の事業、類似事業への統合・転換を検討									
		計画期間の延伸、事業費平準化等を検討				その他									
		D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)													
		廃止				統合				縮小					
		凍結				新たな事業への転換									
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨				廃止可能				条件が整えば廃止検討可能					
		廃止は困難				その他									
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 吉岡支所事務や吉岡地区の公共サービス提供も行われており、吉岡地区としては重要な施設である。				今後の改善策等を具体的に記入します。 築30年以上を経過し老朽化による改修等を余儀なくされるので、管理を含めた対応の見直しが必要である。									
二次評価	庁内委員会評価 A	A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要									
		D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換			
		説明		当該施設利用者の利便性の向上に努める必要がある。 一次評価の内容により事業推進のこと。											
三次評価	三次評価 A	A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要		C 事業規模、内容の見直しが必要									
		D 事業の抜本的見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換			
		説明													

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月24日 作成

担当課 商工観光グループ

事務事業名	観光振興費	施策コード	116161			
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実	法的	法令	条例	その他
	中項目	観光の振興	根拠等	観光立国推進基本法		
	小項目	観光	実施	直営	委託	その他
	財務名称	観光振興費	方法	直接補助等		

**事業概要**  
食と体験を活かした観光プラン開発や、マスコットキャラクターを活用した事業展開を推進し、観光振興による地域活性化を図る。

事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）	(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）
	(1) 商工業者を中心とした観光関連事業者を対象としている。 (2) 観光客を対象としている。	(1) 観光協会に対する補助（マスコットキャラクター推進事業含） (2) 広域的観光協議会を通じた連携事業 (3) 新聞、ラジオ等を活用したPR事業
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）	

1 必要性	(1) 町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）	計	3	点	
	法令等で実施が義務付けられている事業。	1点			追加事由 観光振興の推進のため、民間企業と連携を図った事業展開が必要である。 1点
	生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点			内部管理・運営等の事業。（点数対象外） -
	社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点			（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。
	町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点			観光振興による地域経済活性化を図る上で必要な事業である。
	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点			
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等	計	2	点	
	国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点			法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外） -
	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点			（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。
	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点			観光振興に対する意識高揚が図られる。

2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性	計	1	点	
	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点			（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。
	事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点			官民一体となった観光振興を効果的に実施する。
	類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点			
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点			

3 達成度	(1) 達成度の測定	計	1	点				
	区分	指標（算式）	単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	観光客数	人	58,122	66,075	67,021	67,000
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	観光客一人当たりの観光振興費	円	51	63	61	61
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点					（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点					観光客増加に向けた事業展開に一定の効果があった。また、マスコットキャラクターを使用した新たなPR事業を展開できた。
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点			
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額	
	事業費	千円	2,993	4,187	4,099		低下している	1点	
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点
	地方債	千円				旅費	147	上昇している	-1点
	その他	千円				役員費	349	説明 継続制が求められる事業である。マスコットキャラクターPR事業助成金分が補助金分として増加している。	
	一般財源	千円	2,993	4,187	4,099	負担金・補助及	3,602		
	(2)手法の効率化				計	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。		
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点	観光振興の組織母体である観光協会事務局について、より効果的な体制づくりが求められている。(現在は水産商工課商工観光グループが事務局である)		
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点			
外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点				

項目別点数による評価	項目別点数による評価結果	項目別点数表	低	必要性+有効性								高									
	B	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>5</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>1</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>1</td></tr> <tr><td>4 効果性</td><td>1</td></tr> </table>	項目	点数	1 必要性	5	2 有効性	1	3 達成度	1	4 効果性	1	0	1	2	3	4	5	6	7	8~
項目	点数																				
1 必要性	5																				
2 有効性	1																				
3 達成度	1																				
4 効果性	1																				

担当課評価	A	上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。
-------	---	--

一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)	現状のままで事業を継続	事業を拡充して継続				
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)	事業の簡素化、効率化による改善	執行体制の見直し(外部委託等)による改善				
		事業手法の見直しによる改善	住民参加等の推進による改善				
		事業内容や契約方法等の見直しによる改善	その他効果的・効率的手法の検討による改善				
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)	制度・事業内容の全面的な見直しを検討	対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討				
		必要性等を再検証し事業規模、計画等を見直しを検討	他の事業、類似事業への統合・転換を検討				
		計画期間の延伸、事業費平準化等を見直しを検討	その他				
	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)	廃止	統合	縮小	凍結	新たな事業への転換	
		事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨		廃止可能	条件が整えば廃止検討可能	廃止は困難	その他

説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。	今後の改善策等を具体的に記入します。
	一定の効果があり、観光協会の体制の問題はあるが、継続的な事業展開が必要と考える。	2015年度の北海道新幹線開業を踏まえ、道の駅構想を進めながら観光協会体制の検討を図る。また、はこだて観光圏など広域連携事業の強化も図る。

二次評価	庁内委員会評価	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要		
		D 事業の抜本の見直しを検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結
	説明	北海道新幹線開業を踏まえ、観光協会の事務局体制の見直しを図るとともに、広域連携事業の強化を推進する。				

三次評価	三次評価	A 現状にて事業を継続または拡充	B 事業の進め方の改善・検討が必要	C 事業規模、内容の見直しが必要		
		D 事業の抜本の見直しを検討 ⇨	廃止	統合	縮小	凍結
	説明	マスコットキャラクターを活用したPR活動は一定の効果을あげていると思われる。 食や体験観光プランについて検討中とのことであるので、これらを有効的に活用し観光客数の増加に努められたい。				

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 8月 8日 作成

担当課 商工観光グループ

事務事業名	横綱記念館管理運営費	施策コード	116161			
施策の体系	大項目	地域を支える産業の充実	法的	法令	条例	その他
	中項目	観光の振興	根拠等	横綱記念館条例		
	小項目	観光	実施	直営	委託	その他
	財務名称	横綱記念館管理運営費	方法	委託事業等		

**事業概要**  
二人の横綱が数々の苦難を乗り越えて横綱へと駆け上がっていく様子と輝かしい功績を紹介している記念館の運営を行っている。また、毎年、8月には九重部屋力士の夏合宿が行われ町の観光拠点となっている。

事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）	(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）
	観光客及び町民を対象としている。	千代の山・千代の富士の二人の横綱の出身地として「横綱の里」を中心としたまちづくりを進めており、そのシンボル施設として平成9年に横綱記念館をオープンし、以後、民間業者に委託して管理運営を行っている。
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
	(1)横綱の里を町内外に紹介する町のシンボル施設 (2)観光の拠点施設	

1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）	計	3	点	
	法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	横綱の里づくりの中核施設として整備した施設である。	1点
	生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-
	社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。	
	町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		町が事業主体として整備したものであり、平成9年4月よりオープンしている。管理運営は民間業者に委託している。	
	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点			
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等	計	1	点	
	国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-
	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。	
	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		町内の観光拠点としての役割を担っている。	
限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点				
追加 平成元年に横綱橋、平成2年に横綱街道の整備、平成3年に女相事由撲大会開催など、「横綱の里」のシンボル施設としてのニーズが	1点				

2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性	計	1	点
	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。
	事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		平成17年にオープンした福島町青函トンネル記念館とともに、観光客滞留のための施設として有効である。
	類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点		
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点		

3 達成度	(1)達成度の測定	計	1	点				
	区分	指標（算式）	単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	開館日数	日	244	244	244	244
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	入館者数	人	12,013	9,504	10,807	10,400
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点		ゴールデンウィークと8月を中心に町内の観光拠点として効果をあげている。			
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移		計			点																																																																																																																																	
	区 分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																														
	事業費	千円	12,885	25,197	14,636			低下している	1点																																																																																																																														
	(財源内訳) 国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																														
	地方債	千円				委託料	8,023	上昇している	-1点																																																																																																																														
	その他	千円				需用費	4,525	説明 オープン後、15年経過に伴い建物の老朽化が進み修繕費が増額してきている。																																																																																																																															
一般財源	千円	12,885	25,197	14,636	賃金	1,242																																																																																																																																	
	(2)手法の効率化		計			1		点																																																																																																																															
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点		(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点		平成9年度オープンより通年営業で運営してきたが、冬期間、入館者に対して管理運営費の比率が高くなるため、平成15年度より12月から3月までの間を休館として運営している。現在は冬季休館日を半月ずらしている。																																																																																																																																
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点																																																																																																																																		
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低		必要性+有効性		高																																																																																																																														
	B		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>4</td> <td rowspan="2">5</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	4	5	2	有効性	1	3	達成度	1	2	4	効果性	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>		低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高											6								A			5											4											3											2											1								B			0											-1											-2	高達成度+効果性
	項目	点数																																																																																																																																					
1	必要性	4	5																																																																																																																																				
2	有効性	1																																																																																																																																					
3	達成度	1	2																																																																																																																																				
4	効果性	1																																																																																																																																					
低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																													
										6																																																																																																																													
							A			5																																																																																																																													
										4																																																																																																																													
										3																																																																																																																													
										2																																																																																																																													
										1																																																																																																																													
							B			0																																																																																																																													
										-1																																																																																																																													
										-2																																																																																																																													
担当課評価	A		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																				
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																						
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																	
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																						
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																	
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																	
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																	
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																						
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																	
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																	
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																	
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																							
廃止		統合			縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																														
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																													
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																	
	横綱の里のシンボル施設であり、今後も継続的な管理運営が必要である。					建設後15年を経過していることから、施設内の計画的改修が必要となってきた。																																																																																																																																	
二次評価	庁内委員会評価																																																																																																																																						
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止	統合		縮小		凍結	新たな事業への転換																																																																																																																													
説明																																																																																																																																							
九重部屋力士の昇進に連動して、夏合宿の見学者も増えている状況にある。北海道新幹線の開業を踏まえて、入館者の増加に向けた対策の検討が必要。																																																																																																																																							
三次評価	三次評価																																																																																																																																						
	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止	統合		縮小		凍結	新たな事業への転換																																																																																																																													
説明																																																																																																																																							
横綱の里づくりを推進するにあたっては必要なことであり、引き続き入館者の増加に努められたい。																																																																																																																																							

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月16日 作成

		担当課	建設水道グループ						
事務事業名		街路灯設置及び助成金事業費			施策コード	22525201			
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備			法的	法令	条例	その他	
	中項目	安全な環境の整備			根拠等	街路灯設置及び助成金			
	小項目	防災			実施	直営	委託	その他	
	財務名称	道路橋梁総務費			方法				
事業概要	街灯設置事業 3件 助成金 102,000円 街灯料助成事業 前期 29町内会 助成金1,290,000円 後期 29町内会 助成金1,100,000円								
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）					
	29町内会を対象としている。			福島町街路灯補助交付規則に基づいて、申請書を提出してもらい審査をして交付する。補助率については、街灯設置事業が50%以内、街灯料助成事業が75%以内とする。申請時期は街灯料助成事業については9月末と3月末の2回、街灯設置事業についてはその都度交付する。					
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）								
各町内会の街灯電気料及び街灯設置の負担を軽減する。									
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	3	点			
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由		1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-		
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点		（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点		町内会負担の軽減のため				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点						
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	2	点			
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-		
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点		（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点		福島町街灯料補助交付規則による。				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点							
	追加事由	1点							
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点			
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点		（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点		交通安全や防犯等に対して有効性が高い				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点						
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点							
3 達成度	(1)達成度の測定			計	2	点			
		区分	指標（算式）	単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画	
	活動指標	具体的な活動の内容	指標	街灯設置補助	件	2	3	3	3
			(算式)						
	成果指標	どれだけの成果が現れたか	指標	街灯料助成事業	件	29	29	29	29
			(算式)						
			指標	街灯料助成金	千円	2,330	2,398	2,390	2,400
			(算式)						
			指標	街灯設置補助金	千円	54	52	102	159
			(算式)						
	活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点		（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。					
	意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点							
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点							

4 効果性	(1)事業費の推移				計	1	点																																																																																																																												
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額																																																																																																																										
	事業費	千円	2,384	2,450	2,492			低下している	1点																																																																																																																										
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点																																																																																																																										
	地方債	千円				街路灯電気料補	2,390	上昇している	-1点																																																																																																																										
	その他	千円				街路灯設置補助	3	説明 新設設置の際、LEDを使用しているため。																																																																																																																											
一般財源	千円	2,384	2,450	2,492																																																																																																																															
項目別点数による評価	(2)手法の効率化				計	1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																											
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。					1点	新設設置の際、LEDを使用している。																																																																																																																												
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。					1点																																																																																																																													
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。					1点																																																																																																																													
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																														
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		項目	点数	必要性	5	有効性	2	達成度	2	効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>低</td> </tr> </tbody> </table>							0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高										6							A			5										4										3										2										1										0										-1										-2										低
	項目	点数																																																																																																																																	
	必要性	5																																																																																																																																	
	有効性	2																																																																																																																																	
	達成度	2																																																																																																																																	
	効果性	2																																																																																																																																	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																									
										6																																																																																																																									
							A			5																																																																																																																									
									4																																																																																																																										
									3																																																																																																																										
									2																																																																																																																										
									1																																																																																																																										
									0																																																																																																																										
									-1																																																																																																																										
									-2																																																																																																																										
									低																																																																																																																										
担当課評価		上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																																																																																																																																	
A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																			
現状のまま事業を継続		事業を拡充して継続																																																																																																																																	
B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																			
事業の簡素化、効率化による改善		執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																	
事業手法の見直しによる改善		住民参加等の推進による改善																																																																																																																																	
事業内容や契約方法等の見直しによる改善		その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																	
C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																			
制度・事業内容の全面的な見直しを検討		対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																	
必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討		他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																	
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討		その他																																																																																																																																	
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																			
廃止		統合		縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																											
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨		廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難		その他																																																																																																																											
説明		一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。 道路の安全確保を目的にしているため事業の継続が望ましい。				今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																													
二次評価	庁内委員会評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																										
	説明		町内会の財政的負担の軽減や防犯対策に寄与している。																																																																																																																																
三次評価	三次評価		A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																											
	A		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止		統合		縮小																																																																																																																										
	説明																																																																																																																																		

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月18日 作成

		担当課	建設水道グループ					
事務事業名		道路維持補修事業費			施策コード	22323101		
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備			法的	法令	条例	その他
	中項目	総合交通体系の整備			根拠等	道路法等		
	小項目	道路			実施	直営	委託	その他
	財務名称	道路維持補修事業費			方法			
事業概要	舗装補修や排水溝補修、道路清掃、草刈り、排水溝清掃を行い安全安心な町道管理を行う。							
事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）			(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）				
	町道を対象としている。			道路補修 道路清掃 草刈り 排水溝補修				
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか）							
道路を常時良好な状態に保つように維持・修繕を行い、一般交通に使用を及ぼさないようにする。								
1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）			計	2	点		
		法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点			
		生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点		内部管理・運営等の事業。（点数対象外）		-	
		社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
		町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	道路法及び福島町道路管理規則による				
		民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等			計	1	点		
		国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点		法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）		-	
		対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	道路法及び福島町道路管理規則による				
	限られた財源の中にあっても、実施の緊急性、優先性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性			計	2	点		
		施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
		事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点	道路を適正に管理することにより良好な状態に保たれる。				
		類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点					
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点						
3 達成度	(1)達成度の測定			計	1	点		
	区分	指標（算式）		単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	町道管理延長	k m	102.1	102.1	102.1	102.1
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	町道管理延長	k m	102.1	102.1	102.1	102.1
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	道路パトロールや通報により補修箇所が拡大する前に対処する。				
		あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点					



4 効果性	(1)事業費の推移		計			1	点											
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額									
	事業費	千円	6,091	2,028	6,706			低下している	1点									
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない	0点									
	地方債	千円				需用費(道路維)	5,100	上昇している	-1点									
	その他	千円				使用料及び賃借	800	交通安全施設(カーブミラー・区画線等)の補修増加のため。										
(財源内訳)	一般財源	千円	6,091	2,028	6,706			説明										
項目別点数による評価	(2)手法の効率化		計			1	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。										
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1点	直営で簡易な作業を実施してる。												
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1点													
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1点													
一次評価(担当課評価)	項目別点数による評価結果	項目別点数表		低		必要性+有効性		高										
	A	項目	点数	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高					
	A	1	必要性	3	5									6				
		2	有効性	2											5			
		3	達成度	1	3										4			
		4	効果性	2											3			
														2				
														1				
														0				
														-1				
													-2					
													低					
担当課評価	上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA~Dによります。																	
A	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																	
	現状のまま事業を継続						事業を拡充して継続											
B	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																	
	事業の簡素化、効率化による改善						執行体制の見直し(外部委託等)による改善											
	事業手法の見直しによる改善						住民参加等の推進による改善											
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善						その他効果的・効率的手法の検討による改善											
C	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																	
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討						対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討											
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討						他の事業、類似事業への統合・転換を検討											
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討						その他											
D	D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																	
	廃止			統合			縮小			凍結			新たな事業への転換					
	事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨						廃止可能			条件が整えば廃止検討可能			廃止は困難			その他		
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。						今後の改善策等を具体的に記入します。											
	道路の経年劣化による破損や、排水溝清掃の要望が多くなってきているため、事業を拡充して継続することが望ましい。																	
二次評価	庁内委員会評価	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要										
		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止			統合			縮小			凍結			新たな事業への転換	
	A	説明																
		一次評価の内容により事業推進のこと。																
三次評価	三次評価	A 現状にて事業を継続または拡充			B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要										
		D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨			廃止			統合			縮小			凍結			新たな事業への転換	
	A	説明																

# 平成25年度（平成24年度決算）事務事業評価シート

平成25年 7月23日 作成

担当課 建設水道グループ

事務事業名	住宅管理費	施策コード				
施策の体系	大項目	快適な生活環境の整備	法的	法令	条例	その他
	中項目	快適な環境の整備	根拠等	公営住宅法等		
	小項目	住宅	実施	直営	委託	その他
	財務名称	住宅管理費	方法			

**事業概要**  
町営住宅の管理に必須な団地内街灯電気料や浄化槽法定検査手数料等の支払い管理。

事業の目的	(1)対象（誰を、何を対象としているのか）	(3)手段（どのような手法、手順で行っているのか）
	町営住宅施設を対象としている。 管理戸数246戸	施設維持の為に発生する経常的費用（団地内街灯電気料、樹木等剪定、浄化槽検査手数料外）等の支払いを行う。
	(2)意図（対象をどのような状態にしたいのか） 対象の状態を良好に維持する。	

1 必要性	(1)町関与の根拠（町が行う必要がある事業か）	計	3	点
	法令等で実施が義務付けられている事業。	1点	追加事由	1点
	生活環境の確保等、町民生活に直結した事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	内部管理・運営等の事業。（点数対象外）	-
	社会的・経済的弱者の生活維持・安定のために不可欠な事業。	1点	（説明）関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。	
	町の特性や魅力を生かした取り組みなど、戦略的な事業。	1点	団地内街灯や団地内樹木、浄化槽など、町所有施設であり町予算により支払いするのが適正である。	
	民間等による実施が望まれるが、サービスの確保が困難なため、町が先導・補完する事業。	1点		
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等	計		点
	国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	法令等で実施内容や手法が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。（点数対象外）	-
	対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	（説明）妥当性に関し、内容を具体的に記入します。	
	事業の硬直化・固定化を避けるため、種々の改善を行い、事業の効果が顕著になってきている。	1点	住宅管理費は経常費の支払いと樹木等管理のみであり、施設維持は別事業なので今事業はニーズに関係しないと考えられる。	

2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性	計	1	点
	施策を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	（説明）有効性に関し、内容を具体的に記入します。	
	事業の継続により、成果目標（事業の意図）の向上が期待できる。	1点	適正に料金等を支払いすることによってサービスを停滞させることが無く又、樹木等を適正に管理することにより住環境の向上につながっている。	
	類似した事業との統合や連携を図る余地はない。	1点		
	町民参加と自治意識の向上が図られている。	1点		

3 達成度	(1)達成度の測定	計	1	点				
	区分	指標（算式）	単位	平成22年実績	平成23年実績	平成24年実績	平成24年当初計画	
	活動指標 具体的な活動の内容	指標	団地内管理街灯数	灯	58	58	58	58
		(算式)						
	成果指標 どれだけの成果が現れたか	指標	電気料	千円	1,787	1,886	1,929	1,908
		(算式)						
		指標						
		(算式)						
		活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	（説明）成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
		意図した成果が得られている。（達成度概ね80%以上）	1点	予算各細節において適正に予算執行されている。				
	あまり成果が出ていない。（概ね60%未満）	-1点						

4 効果性	(1)事業費の推移				計	点																																																																																																																																				
	区分	単位	平成22年決算額	平成23年決算額	平成24年決算額	平成24年事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)	単位コスト	一般財源額																																																																																																																																		
	事業費	千円	2,706	2,557	3,100		低下している	1点																																																																																																																																		
	国・道費	千円				区分(節)	金額	変わらない																																																																																																																																		
	地方債	千円				需用費	2,171	上昇している																																																																																																																																		
	その他	千円				役務費	571	H22・24に行った委託業務以外は、経常的な経費であり増減は少ない。																																																																																																																																		
	一般財源	千円	2,706	2,557	3,100			説明																																																																																																																																		
	(2)手法の効率化				計	2	点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。																																																																																																																																		
	現在の手法は、コスト縮減や活動量の拡大に大きく寄与している。				1	点	経常費を支払うだけなので、コスト縮減や対象範囲拡大などは当てはまらない。																																																																																																																																			
	執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地は全くない。				1	点																																																																																																																																				
	外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地は全くない。				1	点																																																																																																																																				
項目別点数による評価	項目別点数による評価結果		項目別点数表		低 必要性+有効性 高																																																																																																																																					
	A		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>点数</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>3</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効果性</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>			項目	点数		1	必要性	3	4	2	有効性	1	3	達成度	1	3	4	効果性	2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>低</th> <th>0</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8~</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-2</td> </tr> </tbody> </table>							低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高											6								A			5											4											3											2											1								B			0											-1										
	項目	点数																																																																																																																																								
1	必要性	3	4																																																																																																																																							
2	有効性	1																																																																																																																																								
3	達成度	1	3																																																																																																																																							
4	効果性	2																																																																																																																																								
低	0	1	2	3	4	5	6	7	8~	高																																																																																																																																
										6																																																																																																																																
							A			5																																																																																																																																
										4																																																																																																																																
										3																																																																																																																																
										2																																																																																																																																
										1																																																																																																																																
							B			0																																																																																																																																
										-1																																																																																																																																
										-2																																																																																																																																
担当課評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">A</div> <p>上記の結果を参考に、事業担当課として、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 評価は、次のA～Dによります。</p>																																																																																																																																									
一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも高い)																																																																																																																																									
	現状のまま事業を継続					事業を拡充して継続																																																																																																																																				
	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効果性は低い)																																																																																																																																									
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善																																																																																																																																				
	事業手法の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善																																																																																																																																				
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					その他効果的・効率的手法の検討による改善																																																																																																																																				
	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効果性は高いが、必要性・有効性は低い)																																																																																																																																									
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討																																																																																																																																				
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討																																																																																																																																				
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他																																																																																																																																				
D 事業の抜本の見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効果性はいずれも低い)																																																																																																																																										
廃止		統合			縮小		凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																	
事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇨					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能		廃止は困難	その他																																																																																																																																
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。																																																																																																																																				
	町営住宅管理に必須な経常費(電気料や手数料)が適正に予算執行されている。																																																																																																																																									
二次評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">A</div>																																																																																																																																									
	A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																				
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合		縮小	凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																	
三次評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">A</div>																																																																																																																																									
	A 現状にて事業を継続または拡充		B 事業の進め方の改善・検討が必要			C 事業規模、内容の見直しが必要																																																																																																																																				
	D 事業の抜本の見直しの検討 ⇨		廃止	統合		縮小	凍結		新たな事業への転換																																																																																																																																	
説明	一次評価の内容により事業推進のこと。																																																																																																																																									